

■石川中央都市圏内の高等教育のグランドデザイン教育に関する意見交換について

日時：令和3年10月11日（月）意思決定委員会

場所：オンライン

参加者：最終頁参照（議長：金沢工業大学 大澤学長）

石川中央都市圏内の高等教育のグランドデザイン教育に関して、当地域での長期的な高等教育の展望、各大学の役割、18歳人口減少をふまえた未来像についての意見交換を行った。大澤議長より、地方(ローカル)でもグローバルという観点が必要であること、学都金沢に共通の国際教養課程を置けないかなど、各委員に意見が求められた。各委員の意見の要旨は次のとおりである。

・金沢医科大 神田委員

国際医療には注目をしているが、医療関係は各国の免許制度が違うためハードルが高い。しかし、ボランティア活動など、医療面での国際貢献は本学の目標の一つである。

・金城大 前島委員

本学の学生が直ぐに海外に出て行くことは難しいが、医療現場を見るとリハビリ医療の分野では中国、インドネシア、アフリカなどで人材が求められている。ボランティアに近いかたちであれば国際貢献できると考えている。

・金沢工大 大澤議長

国際的なボランティア経験者と、様々な分野の学生が議論する国際的な科目などがあると、文化や歴史も関係し、多くの大学が関われる。

・金城短大 加藤委員

短期大学部で国際性は難しいところであるが、観光人材の育成を目指しており、国際的な視野や感覚を持った人材育成を考えている。

・金沢星稜大 篠崎委員

同女子短大 大久保委員

大学と短大で積極的に国際教育は共通に行っている。コロナ禍で国際展開の動きは抑制されてしまったが、遠隔の技術の発展により国際教育の可能性は広まった。海外に行くだけでなく、遠隔を使った国際教育をPF全体で推進することで、様々な分野の大学、自治体、産業界が連携した、ダイナミックな国際展開ができるのではないかと。

・北陸大 小倉委員

毎年150名前後の中国からの編入生を受け入れている。これらの学生は優秀で、大学院への進学を希望したり、日本に就職を希望したりする学生が多いが、現実的には都会へ就職してしまうため、北陸に就職してもらうことが課題である。また、本学は大学院を設置していないため、(PF内の)他の大学院への進学など、国際性を地域に残していくことを考えている。海外留学を希望して入学してくる学生がいるが、コロナ禍で留学希望者が減ってしまっている。自大学のネット授業だけでは、海外留学と同等の希望を叶えることは厳しいため、PF全体で連携していくことで、国際教育だけでなく国際人材を地域に残すことに貢献できる

のではないか。

・金沢学院大/同短大 秋山委員

本学は地域に就職する学生が多いが、就職先の企業は海外進出や海外取引なしには成り立たないところが多い。国際交流など、学生時代に知識、語学力、教養など国際性を身につけておかなければ、企業に入ってやっていけないと考えており、国際的な協力ができる学生をPFで育成していく必要があるのではないか。通年の留学生は少ないが、短期の留学生は居るため、留学生と各大学の学生が交流していけばいいのではないか。

・北陸学院大/同短大 楠本委員

現在、本学に留学生は在籍していない。過去にガーナから保育を学びに来た留学生がおり、その縁で本学からガーナに幼児教育者を送ったことがあるが、現在は繋がりが途切れている。本学に「よりそいの花」という復興支援ボランティアがあり、フィリピンの台風被害の被災地に入り活動を行った。この活動は災害からの復興だけでなく、現地の方と生活再建を試みたりしたが、1回で終わってしまっているため、今後どんな道があるか探っている。

・国際高専 Barksdale委員

規模が小さい学校のため外国籍の留学生は少ない上、コロナ禍で来日できない学生も居るため、自国で遠隔授業を受けている。本校は3年次に1年間のニュージーランド留学があり、国際的な視野を養うカリキュラムとなっている。留学生は少ないが、多くの外国籍の教員を採用しているのは、グローバル化の一つの成果と言えるのではないか。

・金沢工大 大澤議長

国際的なボランティア経験者と、様々な分野の学生が議論する国際的な科目などがあると、文化や歴史も関係し、多くの大学が関わられる。国際性には、多様性、包摂性、共感が必要であり、PFの様な多様な高等教育機関の連携で実現できる。

・金沢商工会議所 普赤委員

産業界としては、人材の確保、デジタル化への対応と人材育成が大きな課題であり、PFと連携を行っていきたい。

・白山商工会議所 竹内委員

金沢商工会議所と同様に人材確保と育成が課題である。職業体験をどう就職につなげるか、即戦力として採った大学卒業生をいかに地元企業に定着してもらうか、就職後のリカレント教育など、地元定着に向けた連携を行っていきたい。

最後に大澤議長より、様々な角度から物事を見るための国際的な素養を持った学生の育成、自治体、産業界と連携し社会人を含めた人材育成を中心に、グランドデザインを描いていくとまとめた、議論への感謝が述べられた。

以上

<参加者一覧>

所属		意思決定委員		出欠	備考
		役職	氏名		
大学等	金沢医科大学	学長	神田 享勉	○	
	金沢学院大学	学長	秋山 稔	○	
	金沢学院短期大学				
	金沢工業大学	学長	大澤 敏	○	幹事校
	金沢星稜大学	学長	篠崎 尚夫	○	
	金沢星稜大学女子短期大学部	学長	大久保英哲	○	
	金城大学	学長	前島 伸一郎	○	
	金城大学短期大学部	学長	加藤 博	○	
	国際高等専門学校	校長	Lewis Barksdale	○	
	北陸学院大学	学長	楠本 史郎	○	
	北陸学院大学短期大学部				
	北陸大学	学長	小倉 勤	○	
自治体	金沢市	都市政策局長	鳥倉 俊雄	(代理)	都市政策局担当次長 新保 博之
	白山市	企画振興部長	中 英俊	(代理)	企画振興部次長 寺師 まゆみ
	野々市市	企画振興部長	浅野 昇	○	
	内灘町	都市整備部担当部長	松井 賢志	○	
産業界	金沢商工会議所	専務理事	普赤 清幸	○	
	白山商工会議所	専務理事	竹内 茂	○	